

令和7年第2回南丹市議会6月定例会一般質問通告文書表
(個人質問)

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答 弁 者
新誠会 市村 好高 (一問一答) 質問予定日 6月11日 午前10時～	道路整備	国道9号の整備改良について	我々新誠会では2月4日に国土交通省の吉井章大臣政務官へ要望書を提出した。要望内容の一点目はJR嵯峨野線吉富駅周辺の国道9号拡幅交差点改良、二点目が国道9号観音峠のバイパス整備、三点目がJR嵯峨野線八木駅東口周辺の国道9号拡幅交差点改良である。市長におかれても強く要望されていると料するが、今後の方向性について伺う。	市 長 担当部長
	公有財産	公有財産の賃貸借について	①京都農業協同組合本店事務所の一部が「農村田園文化コミュニティセンター」への移転に関し、市街化調整区域に位置し、都市計画法上の用途に制限があることから3月定例会で本件について質したところ、操業準備中で問題ないとの答弁であった。しかし新聞報道では、都市計画法の用途変更許可を得ずに既に使用中であることが京都府の現地調査で確認されたこととある。これまでの経緯について、詳細説明を求める。	
			②用途変更の許可は得たのか。許可を得ていないのであれば違法の可能性があり、使用者は京都農業協同組合であったとしても貸主責任がある。市街化調整区域内では事業が厳しく制限され許可のハードルが高い。その中で営利目的の一般事務所として用途変更の許可がおりるのか伺う。	
			③市街化調整区域内の用途変更については慎重に取り扱うべきことは周知の事実である。ましてや本市には都市計画課もある中で、なぜ今回の事象がおこったのか。原因はどこにあったのかを伺う。	
			④「農村田園文化コミュニティセンター」を京都農業協同組合に事務所として貸与する関係から、3月議会の補正予算で建設時に国と府から受けた補助金返還金約2900万円が上程され議決された。採決時に都市計画法違反の可能性について指摘し、疑義が解消してから補助金返還をすべきと訴えたが、補助金返還について執行状況伺う。	
社会体育	スポーツ少年団の施設使用料免除について	⑤京都農業協同組合の本店として利用している「旧八木図書館」と「農村田園文化コミュニティセンター」の貸付料は南丹市行政財産使用料条例に基づき算出されたと思料するが、算定根拠について伺う。また当条例には「営利を目的とする使用に当たっては基準算定額の5倍」との記載があるが、適用されたか伺う。		
		これまで南丹市スポーツ少年団登録団体については本市の社会体育施設の使用料は全額免除であったが、令和8年4月1日以降は半額免除とする通達が各単位団になされた。指導者の皆様はボランティアで明日を担う子ども達の健全育成に全力で活動していただいている中、使用料全額免除の見直しは各単位団の運営に大きな影響を与える。多くの団体から見直し取り止めの声が上がっているが、所見を伺う。		
活緑クラブ 若井 睦巳 (一問一答) 質問予定日 6月11日 午前11時～	行政	市制施行20周年について	①本市は、令和8年1月に市制施行20周年を迎える。これを機に、これまでの20年を振り返り、検証する必要があると考える。合併のプラス面、マイナス面いろいろあると思うが、市長の見解を伺う。	市 長 担当部長
			②西村市政の7年間は、この20年にどのような役割を果たしたと考えているか、見解を伺う。	
			③これまでの20年の反省の上に立って、次の10年、20年につなげていかないとけない。市民の価値観などが多様化し、今後世の中がどのように変化していくか予想するのも難しい中で、本市は何を目指していくのか、目指そうとしているのか。市民が希望を持てる市政について、市長の見解を伺う。	
	交通	本市の公共交通について	①本市の公共交通に関しては、それぞれの地域によって課題が異なると思う。人口減少と高齢化が進む中、本市の在り方を考える上で、公共交通事業の維持・継続は重要な課題であるとする。現時点での公共交通の課題について、市民と認識を一つにする必要があると考える。公共交通の課題及び問題点について見解を伺う。	
			②高齢者の移動手段として公共交通は必要不可欠である。根本的な再構築が必要と考えるが、見解を伺う。	
公明党 木戸 徳吉 (一問一答) 質問予定日 6月11日 午後1時～	行政	市施設の廃止、譲渡について	令和5年10月には「南丹市財政健全化プラン」を、6年10月には「南丹市財政健全化プラン緊急対策」が策定され、たくさんの「対策」を策定された。前議会でも質問したが、地域にとっては重要なことなので再度伺う。	市 長 担当部長
			①譲り受ける施設は老朽化が進んでいる。譲り受けた物件の修繕費用の地元負担金は理解できない。	
			②譲り受けるにあたり、今後維持管理費用が必要になる。地元負担が大きな課題である。	
		③施設は地域拠点としてなくてはならないものである。維持管理のために何らかの収入を得る道はないか。		
	福祉	身寄りのない方の終末について	今日の社会的情勢なのか、一人住まいの方が多くみられる。健康なうちはあまり問題ないが、健康を害すると入院や介護の問題が出てくる。行政として手厚くされているとは思いますが、最後の看取り等について伺う。	
			①昨年度、市が送られた身寄りのない方の葬儀の数は。	
			②遺骨はどのように埋葬されるのか。	
		③これらに係る葬祭料等はどうかされているのか。府、国から支援はあるのか。		
環境	ごみ出しの対応について	本市においても多くの外国人の方が住んでおられる。我々と同じく生活され、当然ごみ等を排出されているが、いわゆるごみ出しのルール等は余りご理解されていない状況である。事業系のごみが可燃ごみとして出されていることもあり、区長さんが対応に苦慮されているのを見かける。少しでも係の方等にご負担のかからないよう望むものである。多言語のチラシ等を作成してルールの徹底等を図るべきではないか。		

令和7年第2回南丹市議会6月定例会一般質問通告文書表
(個人質問)

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答 弁 者
日本共産党議員団 小林 毅 (一問一答) 質問予定日 6月11日 午後2時～	市役所・支所の 利便向上へ	多機能端末の設置で支所と本庁の窓口格差是正	①本年1月から中央庁舎一階に設置された多機能端末の3月までの利用数、R6のコンビニ交付の件数と率を聞く。 ②導入を決めた昨年9月議会では、デジタル化で住民サービス向上を図るのであれば支所からと多くの異論が出た。支所への設置の予定・計画を尋ねる。	市 長 担当部長
		郵便局を活用した生活支援サービスの提供を	①船阪、殖生、神吉、四ツ谷郵便局での、昨年度の公的証明書交付件数を聞く。 ②政府はR7地方財政対策で、住民生活支援サービスの委託も含めて財政措置を創設した。本市での導入の検討を。	
		中央庁舎一階に給水器設置を要望する	猛暑対策、また、こまめな水分補給の大切さが言われる中、中央庁舎に給水器を設置して市としての対策を開始してはどうか。	
		16時30分開庁を地方自治の本旨から考える	①開庁時間短縮の探求は是とするが、主権者である市民の理解が不可欠。広報誌、ネットによる告知だけでよいのか。10月本格実施ありきではなく広聴のとりくみを。 ②来庁しなくても利用可能なサービス拡大とあわせ、市民の抛り所として来てもらえる市役所になることが求められる。	
	予防接種事業	带状疱疹ワクチン定期接種化への積極的対応を	①費用の3割は普通交付税措置、低所得者の無料化措置を厚労省は求めている。また、65歳及び5年刻みの年齢になる方に接種券が届く運びだが、市の制度設計はどうか。 ②予防効果は高い。50歳以上の方への任意接種助成を。	
新風会 塩貝 孝之 (一問一答) 質問予定日 6月11日 午後3時～	公契約 公共工事の入札について	市内業者への発注機会の拡大配慮、市内業者の育成や地域経済の発展を基本方針とされる南丹市公契約の指針から鑑みると、令和7年度南丹市学校給食共同調理場新築工事の発注には違和感を覚える。過去にも幾度となく質してきたが、いま一度公共入札についての考え方を伺う。	市 長 副市長 担当部長	
	観光 観光協会の今後について	本年3月によろやく南丹市観光協会が設立された。美山DMOIについては今後合流される旨伺っているが、今後の展開について以下に伺う。 ①市長は常々、すべては地域振興に繋がるとおっしゃっているが、地域振興施策と観光振興施策の連携が見られない。本市としての観光協会が設立された今こそ、スピード感をもって目指すべき地域像を具現化する戦略・連携が必要である。 ②今後の観光戦略を考えたときに、財政や人的要因から協会としての存続は厳しい局面もあるのではないかと。近い将来には商工会の一組織としての運営も視野に入れるべきと考える。		
	防災 大規模災害時の消防団活動について	頻発する大規模な山火事や、出水期を迎えるにあたり消防団の担いは非常に大きい。R6年12月議会でも質しているが、目の前に起こりうる脅威に対し、悠長な構えであってはならない。団員の処遇改善を早急に求めるとともに、総務省通知・通達についての認識を伺う。		
	行政 市民と行政が情報連携できるネットワークの構築について	SNS等の相互通信機能を活用する事で利便性や安心安全が担保されると考える事から以下を提案する。 ①市民や事業者のドライブレコーダーの利活用 ②倒木や道路陥没など、市内危険箇所の情報 ③クマ等の野生有害鳥獣の出没情報		
つなぐ 谷尻 宣雄 (一問一答) 質問予定日 6月11日 午後4時～	まちづくり JR八木駅東口整備促進事業について	市長は令和5年9月定例会において、東口整備事業について十分これから地元との話し合いを持っていきたいと思うと答弁され、又、国道9号についてはJR八木駅東口周辺より府道竹井室河原線交差点付近を先に進め、その後JR八木駅東口付近整備に向けて取り組むと答弁されている。その後の取り組みについて以下のとおり伺う。 ①令和5年9月定例会以降、地元協議会との話し合いは行われたのか伺う。 ②駅前広場用地のJR用地買収の現状を伺う。 ③国道9号、府道、駅前広場の今後の事業推進について伺う。	市 長 担当部長	
		公園 大堰川緑地公園の公衆トイレ整備について		八木町にある大堰川緑地公園は年間を通じて多くの人々が集う公園である。本公園内には公衆トイレが設置されているが、使用後の手洗いなどの水が確保できず利用者に不便をかけている。これまではスポーツフォアオールトイレも使用されていたが施設閉鎖後利用者が使えなくなった。公園内は河川敷であり上水道、公共下水道も設置できないとは聞いているが、利用者の不便解消に向け、以下について伺う。 ①既存公衆トイレの水確保の考え方について伺う。 ②堤内地に公衆トイレを設置する考えはないか伺う。
新誠会 堤 博明 (一問一答) 質問予定日 6月12日 午前10時～	米問題 米問題について	①全国的に米不足が社会問題になっている。本市においても同じ状況であるが、市長の所見を伺う。 ②米の品薄状況が続いているが、学校給食において米の確保は出来ているか、教育長に伺う。 ③米の価格高騰により、給食メニューの工夫が必要と考えるが、どのように対応されているか。また給食費の保護者負担について今後の計画を教育長に伺う。	市 長 教育長	
	環境・地域振興 産業建設常任委員会行政視察を終えて	①脱炭素など環境問題の取り組みを行うことで災害に強いまちづくりに生かし、防災の観点から民間企業との連携を検討されてはと考えるが、市長の所見を伺う。 ②小学校をはじめとする公共施設の跡地活用や新たな事業の創出として、エビの陸上養殖についてサポートできるよう検討されてはどうか、市長の所見を伺う。		
	防災 避難所について	①昨年3月の一般質問で、災害時にペットと一緒に避難が出来るよう求めた件で、前向きな答弁をされていたが、現在の進捗状況について市長に伺う。 ②今後の計画について伺う。		

令和7年第2回南丹市議会6月定例会一般質問通告文書表
(個人質問)

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答 弁 者		
新誠会 前田 義明 (一問一答) 質問予定日 6月12日 午前11時～	人権政策	人権政策条例について	南丹市人権を尊重し多様性を認めあまづくり条例第6条(基本方針)等について伺う。	市 長		
	緊急対策	お米の現物支給について	「令和の米騒動」と言われる主食が価格高騰する中、食べ盛りの子どもを持つ市内の家庭に緊急対策として米の現物支給を早急にされてはどうか伺う。			
活緑クラブ 八木 信樹 (一問一答) 質問予定日 6月12日 午後1時～	都市計画	八木駅東口周辺整備について	①昨年12月、八木市民センターにて八木駅東口周辺整備促進協議会の役員と担当課が、今後の方針について意見交換を行ってから半年が経過したが、市が考える「安全な国道」とは、どのようなものか伺う。 ②また、今後の説明にあたっては、八木駅東口周辺整備促進協議会の会員や周辺住民も交えて行う必要があると考えるが、市長に見解を伺う。	市 長 担当部長		
		駅前駐輪場について	指定管理で委託している駅前の駐輪場の利用実績について伺う。また、民間の駐輪場との連携も踏まえ、民業圧迫とならないよう配慮したうえで、当該駐輪場を一時利用の駐車場として活用し、指定管理を継続してはどうかと考えるが、市長の見解を伺う。			
		公園の整備について	①八木支所に隣接する公園については、多くの地域の子ども達が集まり遊具を利用したり、様々な遊びをするなど、子育て環境において欠かすことのできない公園である。そうしたなかで、数か月前に遊具の一部が破損し、撤去された状態のままである。子ども達の健全な遊び場の提供のためにも遊具の整備が必要であると考えているが、市長の見解を伺う。 ②近年、空き地には、新築住宅が建設され、新たな移住者の定住も増加するなど、地域の子どもの数も増えてきている。そうした状況の中で、公園の拡張や新たな広場が必要であると考えている。特に、折戸地区には、マンションの建設が進み、B&G跡地についても造成工事が完了し、宅地として販売が始まっている。将来のまちづくりを見据える中で、公園整備などの環境整備も欠かせないものと考えているが、市長の見解を伺う。			
	行政運営	八木支所施設の有効利用と駐車場について	①八木支所2階にある上下水道部については、本庁の耐震化工事が完了した後には本庁へ移転する予定だと伺っている。その移動に伴い、八木支所2階のスペースが大きな空き室となる見込みである。施設の有効活用という観点もあるが、宅地の増加が進んでいる八木町地域においては、子ども達の広場として、室内公園の整備や子どもから大人までが集い交流できる広場などが必要ではないかと考えるが、市長の見解を伺う。 ②南丹市観光協会は、園部駅西口ステーションビルに事務所を構え活動をされている。一方で、八木支所1階に事務所を構える八木町観光協会についても今後、統合に伴い施設を退去されると伺っているが、空き室を今後、どのように活用を検討されているのか伺う。 ③八木支所3階にある八木市民センター(スタヤぎ)は、市民のサークル活動や文化活動、様々な行事や会議などに広く利用されており、非常に利用頻度が高い施設である。その一方で、施設を利用しようと車両で訪れた住民からは、駐車場が狭く、すぐに車両を止める場所がなくなるなど、多数のご意見を頂いている。改善策をどのように検討されているのか伺う。			
			学校運営		安全な教育環境に向けて	①地球温暖化の影響により、毎年猛暑日が続くことが多くなっており、学校においても熱中症対策を講じられているが、これまでどのような対策が行われてきたのか。また、近年では、体育館にスポットクーラーや冷水機を設置する学校も増えているが、本市においてもこれらの導入予定はないのか教育長に伺う。 ②4月10日、奈良市の学校法人 帝塚山学園のグラウンドに雷が落ち、生徒が病院に運ばれる事態となったが、本市においては、避雷針などの対策はしてあるのか、教育長に伺う。
			地域振興		過疎対策について	①近年、日本の総人口は減少傾向である。本市においても人口減少により、各地区では過疎化が進展しており、地域維持ができない危機的な状況の地区も発生していると考えているが、本市の所見は。 ②本市が現在行っている主な過疎対策は。 ③今後、強力で新たな過疎対策が必要と考えるが、本市の見解を伺う。
活緑クラブ 村山 好明 (一問一答) 質問予定日 6月12日 午後2時～	地域振興	南丹市日吉生涯学習センターについて	①現在、南丹市日吉生涯学習センターにおいて、大規模な改修工事を行っている中、多くの住民の方々は、完成を待ち望んでいる。現在の工事の進捗状況を伺う。 ②施設完成後の施設活用について、どのような構想か伺う。	市 長 担当部長		
	防災	災害対応について	①近年は、地球温暖化が原因と思われる異常気象により、様々な予想外の災害が発生しているが、本年も梅雨の時期となり、豪雨災害等が懸念される。本市では、災害予防計画がたてられているが、緊急時にスムーズな運用ができることが必要である。市民の安心安全を守るのが市の最大の使命である。本年の豪雨に対する備えは。 ②里山再生整備事業は、倒木等による災害予防には、大変有効な事業である。担当者の方々の努力により、本年度で申請のあった多くの事業が終了すると聞いているが、次年度以降の対応予定は。			
	環境	不法投棄について	道路沿いでは、今でも、空き缶等のごみの不法投棄がある。特に、民家のない道路においては、大型ごみを含め、危険なガラス等も不法投棄されている所がある。不法投棄は、場合によっては、河川への影響や豪雨時には、災害につながる可能性もあると考える。本市の不法投棄に対する考え方と防止策について伺う。また、緑化フェアをきっかけとして、不法投棄ごみにも真剣に向き合うべき必要があると考えるが、本市の見解は。			

令和7年第2回南丹市議会6月定例会一般質問通告文書表
(個人質問)

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答 弁 者
日本共産党 議員団 河野 啓介 (一問一答) 質問予定日 6月12日 午後3時～	人権	公共の女子トイレに生理用品の設置を	①本市ではすでに中学校の女子トイレに生理用品が設置されていますが、小学校にも設置することを求めます。	市 長 教 育 長 担当部長
			②人権を大切に、ジェンダー平等を推し進めようというメッセージとしても、公共の女子トイレに生理用品の設置をさらに推し進めることを求めます。	
		ジェンダーレストイレの設置	上記と同じ理由で、ジェンダーレストイレの増設を求めます。	
	上下水道	老朽化が懸念される水道について	①全国で水道の老朽により漏水、断水などが報じられています。本市の水道施設について把握されている現状をうかがいます。	市 長 担 当 部 長
②今後の水道事業の展望についてうかがいます。				
③本市上下水道事業の安定のために国の支援強化を求めます。				
公共施設	JAによる「農村田園文化コミュニティセンター」の使用について	①新聞報道によると副市長は、市街化調整区域の制限変更について「JAは公共性が高いため認められる」とされています。真意をお伺いします。	市 長 副 市 長 担 当 部 長	
		②現時点で「違法」の可能性が高いと指摘されています。今後の対応も含めて所感をお聞きます。		
つなぐ 吉田 尋子 (一問一答) 質問予定日 6月12日 午後4時～	防災	災害時の備蓄について	①能登半島地震で自治体の備蓄品の不足が課題となった。備蓄品については国が長期に備えた備蓄量を指針として示しているが、本市の備蓄量はどうか。	市 長 担 当 部 長
			②生活物資だけでなく、女性用衛生用品やアレルギー対応食品、乳幼児用品の備蓄拡充など、備蓄の充実と多様化が求められるが、現状は。	
			③本市は市域も広く、道路網が寸断され孤立集落が発生することが考えられることから、備蓄倉庫を分散配置することによって、対応が強化できると考えられるが、現状と今後は。	
			④備蓄物資が豊富にあっても、適切に運搬し配布する道筋が重要。物資配布の計画の強化が必要である。現状と課題、今後は。	
	環境	不法投棄と脱炭素社会の取り組みについて	①ごみの不法投棄が減らない状況にある。現状をどう認識しているか。防止対策はどうか。	市 長 担 当 部 長
			②地域脱炭素重点加速化事業は6年度から10年度にかけての計画であるが、6年度の事業実施結果は。計画通り進んだのか。7年度実施計画の詳細は。	
③市長は計画の実施に当たって体制強化の必要があると以前に答弁されているが、体制は強化されたのか。事業実施にあたっての人材は確保されているのか。				
新誠会 樋口 浩之 (一問一答) 質問予定日 6月13日 午前10時～	複合政策連携	グリーン・トランスフォーメーション	本市におけるグリーン・トランスフォーメーションの位置づけ、また脱炭素を基点とする複合的な施策を今後展開していく考えはあるか。	市 長
		環境と地域経済	環境と地域経済の好循環を生み出す制度について、具体的に取り組む考えはあるか。	市 長 担 当 部 長
		環境とコミュニティ	環境問題への対応を通じて住民の交流を生み出すような取り組みについて伺う。	
		環境と教育	南丹市における小中学校での環境教育の現状と、今後の方針について。	教 育 長
		環境と防災	気候変動による災害リスクの高まりをふまえ「環境×防災」の統合的な視点を今後の施策にどう組み込んでいくのか。	
		環境と観光	観光振興と環境保全の両立を図るための方針や具体的な取り組み、エコツーリズムや環境協力金の導入など、今後の展望について伺う。	市 長 担 当 部 長
	部署間連携	環境問題など複合的・横断的な課題に対応していくため、部課連携を推進する体制の整備や政策統括部署の設置について伺う。		

令和7年第2回南丹市議会6月定例会一般質問通告文書表
(個人質問)

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答 弁 者
活緑クラブ 下間 康広 (一問一答) 質問予定日 6月13日 午前11時～	空家	空家活用と対策について	全国的に人口減少が続く中、空家の増加が危惧されている。本市も例外ではないと考える。ただ、空家は移住定住策にとって有効な資源であるとも言える事から、それをふまえ以下を伺う。	市 長 担当部長
			①空家活用や移住政策の現状と成果は。	
			②空き家は有効な資源となりうる反面、放置すると大変危険なものにもなる。本市の空家数の推移と現状は。あわせて特定空家等の状況と件数を伺う。	
質問予定日 6月13日 午前11時～	投票所	投票所の今後について	本市では、令和3年度より投票所の再編が進められてきた。人口減少や高齢化が進む中、将来を見据えた「継続的な運営」を目指した再編は一定理解できる。ただ、存続を強く望む地域もあると聞く。その様な現状をふまえ、今後の再編計画と存続要望に対する対応を伺う。	選挙管理 委員長 委員 長
	施設	公の施設の今後について	財政健全化に伴い、公の施設の再配置も検討され有効活用に向かわれている。その反面、取り残された施設に対しての不安が大きくなってきており、以前から取り残された施設の今後にも注目されている。以上のことをふまえ、以前質問した旧摩気・旧西本梅幼稚園両施設の今後の検討経過や内容について伺う。	市 長 担当部長
つなぐ 山下 秋則 (一問一答) 質問予定日 6月13日 午後1時～	住民サービス	市役所・支所の開庁時間の短縮について	市役所の組織機能を改善・向上させるための「時間」を確保し、業務効率化による「適切な市民サービスの維持・向上に努める」として、市役所(本庁・各支所)の開庁時間を9時～16時30分に短縮すべく、6月から試行、10月からは本格実施するとし、チラシなどで広報されているところであるが、これについて以下に聞く。	市 長 担当部長
			①若手職員が中心のプロジェクトチーム「Creative-lab」の提言を受け、開庁時間短縮を検討したとのことであるが、全庁的には、どのような場で、どのように検討されたのか。	
			②開庁時間短縮については、区長会での説明や広報、報道などを通じて事前に広報等されていると承知するが、この間、市民からの意見など反応はどうであったか。	
			③所管事務調査において、開庁時間短縮のねらいの一つに、職員の業務改革として、「政策立案や創造性のある仕事に取り組むための時間を確保し、住民満足度の高いサービスの提供に努める」との説明であったが、時間を確保して具体的に何を指すのか。市民に分かりやすく説明することが必要ではないか。また、従前の開庁時間内では、時間短縮のねらいとするところの実現が難しいのか。	
			④開庁時間を短縮(9時～16時30分)とした時間設定の根拠は。また、開庁時間に合わせ、建物(全庁舎)の閉開も同様となるのか。同様となる場合、市民への周知はされているのか。	
			⑤短縮は、市民課等の市民窓口業務担当部署だけでなく、全課で実施されると聞かすが、その理由、必要性は。また、全課で実施する場合の申請・相談・協議等・会議などでの来庁者への対応、運用は、どのように考えているのか。	
⑥開庁時間の短縮は、全国的な傾向であるが、「役所は、利用者・市民に対してどうあるべきか」について、どのように考えるか。				
道路整備	市道「本町平成台」の整備について	市道「本町平成台」の整備について	「府都市計画道路網見直し指針」に基づき、平成25年に長期未着手となっている都市計画道路を対象に見直しを行い、5路線が廃止されたが、この内、廃止された「栄小山東町線」の代替で、多くの車両が通行し、園部第二小学校の通学路となっている市道「本町平成台線」の整備について、以下に聞く。	市 長 担当部長
			①当該路線は、道路幅員が十分でなく、歩行者や車両の安全な通行に課題があると考え。当該路線の未整備の区間に対する現状及び現状に対する認識はどうか。	
			②都市計画道路「栄小山東町線」の整備が廃止されたことから、一般道路である当該路線の整備に期待するところであるが、合併から20年経っても現状は変わっていない。安全な通行を確保するための道路整備が必要と考えるがどうか。	
市道「城南小山線」の通行止について	市道「城南小山線」の通行止について	市道「城南小山線」の通行止について	③当該路線の小山西町地内において、舗装面の損傷が著しく“亀の甲羅”状況の箇所が多い。また、通学の安全を確保するため「グリーンライン」が設置されているが、多くが消えかけている状況であるほか、路側に立っている一部の電柱が、一層、通行の障害となっている。安全な通行を確保するため、可能なところから、早急な対策が必要と考えるが。	市 長 担当部長
			昨年11月の豪雨により、園部町小山東町地内の二本松頂上付近で地すべりの兆候がみられたため、市道「城南小山線」が現在も通行止めとなっている。市では「国の災害復旧事業の採択を受けて復旧すべく、地すべり調査及び復旧工法の検討を進めているが、復旧完了までには長期間を要するとし、応急的対策による歩行者の通行確保も検討しているが、目途は立っていない」と広報している。そこで、以下について聞く。 高校の生徒は街路「横田小山東町線」を通り、遠回りして毎日登下校しているほか、当該路線沿線のお店などでは、大幅な通行の減少で影響も出ていると話されている。通行止めが半年以上続いているが、応急的な通行の確保の見通しはどうか。可能な範囲での対応を早期に実施すべきではないか。	